

*** * 市民公開講座 * ***

「放射線治療でがんが治る」

癌研有明病院 (前) 副院長

山下 孝 先生

司会：高知大学医学部放射線医学講座 小川 恭弘

参加費：無料

日 時：平成 21 年 12 月 18 日 (金)

午後 5 時～6 時

会 場：高知市文化プラザかるぽーと (7 階)

〒780-8529 高知県高知市九反田 2-1

TEL：088-883-5011

—放射線治療でがんが治る—

癌研有明病院 顧問 山下 孝

経歴

1944年 岡山市生まれ
1957年 岡山大学附属中学入学
1963年 東京都立戸山高等学校卒業
1970年 京都府立医科大学卒業
1970年 東京女子医大放射線科
1974年 東京慈恵会医科大学放射線科
1977年 米国ハーバード大学留学1年間
1986年 癌研究会付属病院 放射線治療科医長
1988年 同上 部長
2007年 癌研有明病院 副院長
2009年8月 同上 退任 顧問に就任



元日本放射線腫瘍学会 会長

元日本医学放射線学会 理事

抄録

癌の治療は乳癌治療の変遷などで明らかなように、拡大手術一辺倒の時代から、化学療法、放射線治療をうまく利用した「患者中心の優しい治る治療」へと大きく変換している。この各臨床科が協力して治療をする集学的治療を最近「チーム医療」と呼んでいる。

放射線治療はコンピュータ技術の発展の影響で治療方法が大きく向上した。最近のトピックスをいくつか紹介する。まず、小さい肺癌や肝臓癌への3次元原体照射（定位照射）で、3cm以下の腫瘍は5日間の外来通院外部照射で手術と同程度の成績を得ることが出来るようになった。すなわち、小さい腫瘍は、皮膚に傷一つ作ることなく外来通院で、手術と同じ程度に治すことができるようになった。また、化学療法との併用で頭頸部のがん、食道がんそして肺がんでも手術に劣らない治療成績が報告され、一方、わが国で始まった炭素線治療も治療開始後15年を経過して5000例が治療され、安全性が確保されると同時に治療成績も従来のエックス線治療を凌駕するものとして示された。放射線治療の効果を高める方法として、高知大学では小川教授発案による過酸化水素注入放射線治療が試みられて興味深い結果が報告されているが、私が関係している東京放射線クリニックでその効果を検証しているのでこの点も追加したい。